



ずっくま！

みんなでつくる ずっといいまち くまとりちゅうがっこう

第3号 2026.7.13

1・2年生の取り組みを紹介！

前号では3年生の修学旅行での学びについて書きました。1・2年生もとても素敵な取り組みを行っていますので、少し紹介したいと思います。

1年生 校外学習 須磨シーワールド + 須磨ビーチ

1年生は、リニューアルされた神戸市の須磨水族館を訪問して、イルカとシャチのショーや、海洋生物の展示を見学しました。生物の多様性や、生命尊重・自然愛護の精神を、体験を通して学びました。事後学習として、壁新聞「わたしたちの海洋生物図鑑」を制作し、校舎1階廊下に掲示しています。



2年生 クラス劇・キャリア学習の取り組み

2年生は、キャリア学習の取り組みを進めています。5月には「挑戦の幕開け」と題し、クラス劇を制作し、学年で披露しました。仲間の挑戦を笑顔で歓迎しようという安心感のもと、一人ひとりが参加者であり、担い手であるということを実感できる、とてもあたたかい時間になりました。また、7月には「働くこと」について、地域の方のお話から学ぶ学習会も行われました。社会を知り、自分自身を見つめ、生き方について考える第一歩になりました。

6月には、前期人権学習週間がありました！

1年生は「私たちの学校生活と平和」を主題とし、絵本を教材にして、日常の大切さを見つめ直す学習をしました。2年生は、映画「破戒」から部落問題について学習しました。そして、3年生は沖縄修学旅行を終え、「平和を語り継ぐ」ことをテーマに、学んだことや考えたことを下級生に発信する学習に取り組んでいます。ユネスコは、誰一人取り残さず、あらゆる人が幸せに生きる権利を保障することをその理念に掲げています。熊取中学校で学んでいることは、みなさんがよりよい社会の創り手となっていく上で、とても重要なことだと思います。学んだことを振り返り、その意味を見つめてみてくださいね。

ESDとは…

Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育) の略語。

さまざまな現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、将来にわたって持続可能な社会の実現をめざす、「持続可能な社会」の創り手を育てる教育のことです。



【ESD関連用語の紹介】

UNESCO (ユネスコ) = 国連教育科学文化機関。教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和の実現をめざすための機関。世界遺産の認定なども行っている。

ユネスコ憲章

= ユネスコが創設された1945年に発表された宣言文。前文で「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という言葉を掲げ、平和のため自由や平等、それをめざす教育の大切さをうたっている。

